

平成 30 年度行政提案型市民協働事業実施報告書
(元気なパラリンピック応援団 in こまえとの市民協働事業)

1. 事業概要

東京 2020 大会の開催に向けて、市内の気運を醸成するとともに、車いす利用者も含めて誰もが簡単に着ることができるバリアフリー着物に関する普及啓発と人材育成を目的として、次の事業を実施した。

- (1) 東京 2020 大会に向けた着物の着付け教室
- (2) 東京 2020 大会に向けた「造り帯」教室
- (3) 着付けサポーター養成講座
- (4) 元気なパラリンピック応援団 in こまえフェスティバル

2. 主催

狛江市（企画財政部政策室）
元気なパラリンピック応援団 in こまえ

3. 事業形態

狛江市と元気なパラリンピック応援団 in こまえとの市民協働事業
(平成 30 年度行政提案型市民協働事業)

4. 事業実施経過

実施日	事業名
5月12日(土)	東京 2020 大会に向けた着物の着付け教室
6月6日(水)	東京 2020 大会に向けた「造り帯」教室
6月27日(水)	〃
6月30日(土)	〃
7月11日(水)	〃
7月14日(土)	〃
9月1日(土)	着付けサポーター養成講座
10月6日(土)	〃
10月20日(土)	東京 2020 大会に向けた「造り帯」教室
11月17日(土)	〃
11月25日(日)	着付けサポーター養成講座
12月8日(土)	元気なパラリンピック応援団 in こまえフェスティバル
1月13日(日)	着付けサポーター養成講座
2月16日(土)	〃
3月10日(日)	〃
3月13日(水)	〃

5. 各事業詳細

(1) 東京 2020 大会に向けた着物の着付け教室

【実施内容】

バリアフリー着物の着付けを体験する教室を開催した。参加者は好みの着物と帯を選び、講師のサポートで着付けをした後、着物姿で記念撮影を行った。着付け体験後は、元気なパラリンピック応援団 in こまへの鈴木代表がバリアフリー着物を発案した経緯や今後の事業展開を紹介した。

【実施日】

平成 30 年 5 月 12 日（土）

【会場】

市役所特別会議室

【参加者数】

32 名

【事業成果】

車いす利用者、子ども、男性等、着物を着る機会がなかった方に対して、日本の伝統文化である着物を楽しむ機会を提供することができた。また、障がいの有無に関わらず気軽に楽しむことができるバリアフリー着物の魅力を伝えるとともに、東京 2020 大会に関する興味関心を高めることができた。

【写真】



(2) 東京 2020 大会に向けた「造り帯」教室

【実施内容】

帯を切らずに結んだ帯を糸で留める「造り帯」を製作する教室を実施した。参加者は、使わなくなった帯を持参し、講師の指導の下、「造り帯」を製作するとともに、製作した「造り帯」の着付けの方法を学んだ。参加者には、着付けサポーター養成講座等、今後の事業の紹介を行った。

【実施日】

平成 30 年 6 月 6 日 (水)、6 月 27 日 (水)、6 月 30 日 (土)、7 月 11 日 (水)、
7 月 14 日 (土)、10 月 20 日 (土)、11 月 17 日 (土)

【会場】

市役所特別会議室、防災センター会議室

【参加者数】

延べ 77 名

【事業成果】

着物や帯を持っているが着る機会が少なくなってしまった方に対して、再び気軽に着物を楽しんでもらえる機会を提供し、バリアフリー着物の普及啓発を図ることができた。また、東京 2020 大会の PR を図るとともに、今後の事業展開に必要な人材の掘り起こしを行うことができた。

【写真】



(3) 着付けサポーター養成講座

【実施内容】

バリアフリー着物の着付けやイベントの運営等を支援する人材を育成することを目的とした講座を実施した。参加者は、車いす利用者や男性等、様々な対象者を想定しながら、バリアフリー着物の着付けの方法や技術を学ぶとともに、東京五輪音頭「2020」の踊りを練習した。

【日程】

平成30年9月1日(土)、10月6日(土)、11月25日(日)、

平成31年1月13日(日)、2月16日(土)、3月10日(日)、3月13日(水)

【会場】

市役所特別会議室、防災センター会議室

【参加者数】

延べ132名

【事業成果】

バリアフリー着物や着付けに関する知識と技術を普及させるとともに、今後の事業に協力してくれる人材の発掘と育成を図ることができた。また、東京2020大会に向けた気運とボランティアマインドを醸成することができた。

【写真】



(4) 元気なパラリンピック応援団 in こまえフェスティバル

【実施内容】

バリアフリー着物の魅力を発信するとともに、障がいを持つゲストによるパフォーマンスや東京五輪音頭-2020-を踊るイベントを実施した。短い時間で簡単に着ることができるバリアフリー着物の特徴を理解してもらうため、舞台上で参加者への着付けを実演した。ゲストは、バリアフリー着物を着て登壇し、車いすで生活するうえでのバリアや障がいの有無に関わらず前向きにチャレンジすることの大切さを語ってもらった。イベントの最後には、ゲストやスタッフを含めた来場者全員で東京五輪音頭-2020-を踊った。

【日程】

平成 30 年 12 月 8 日 (土)

【会場】

中央公民館ホール

【ゲスト】

車いすガールズユニット BEYOND GIRLS

【プログラム】

- ・鈴木代表講演
- ・バリアフリー着物の着付け実演
- ・BEYOND GIRLS パフォーマンス (講演・歌)
- ・民謡と太鼓, 東京五輪音頭-2020-

【参加者数】

81 名

【事業成果】

会場には車いす利用者や外国人の方にもご来場いただき、バリアフリー着物の魅力を広く発信することができた。ゲストによるパフォーマンスや東京五輪音頭-2020-を通じて、障がい者に対する理解を深め、意識を啓発するとともに、東京 2020 大会に向けた気運の醸成を図ることができた。



平成 30 年度行政提案型市民協働事業実施報告書
(狛江市ラグビーフットボール協会との市民協働事業)

1. 事業概要

近隣の東京スタジアムにおいて、ラグビーワールドカップ 2019 が開催されることを踏まえ、市内における大会に関する興味関心を高め、大会に向けた気運を醸成するとともに、地域スポーツの振興を図ることを目的として、次の事業を実施した。

- (1) プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー
- (2) デフラグビー日本代表による講演会&小学生タグラグビー教室

2. 主催

狛江市
狛江市ラグビーフットボール協会

3. 事業形態

狛江市と狛江市ラグビーフットボール協会との市民協働事業
(平成 30 年度行政提案型市民協働事業)

4. 事業実施経過

実施日	内容
6 月 21 日 (木)	会議 (バスツアーに関する企画の検討, バス事業者の選定等)
8 月 23 日 (木)	会議 (ゲスト選手に関する検討等)
9 月 20 日 (木)	会議 (運営方法及び開催場所の検討, 各事業進捗状況の確認, チラシデザインの確認等)
10 月 1 日 (月) ~ 10 月 14 日 (日)	プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー 参加者募集
10 月 15 日 (月)	プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー 参加者抽選作業
10 月 25 日 (木)	会議 (参加者及びチケット手配に関する確認, 当日の進行に関する検討等)
11 月 1 日 (木)	デフラグビー日本代表による講演会&小学生タグラグビー教室 参加者募集開始
11 月 3 日 (土)	プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー
11 月 10 日 (土)	会議 (講演会・タグラグビー教室の運営及び進行に関する検討)
11 月 24 日 (土)	デフラグビー日本代表による講演会&小学生タグラグビー教室
1 月 24 日 (木)	会議 (事業の課題・反省点の検討等)
3 月 7 日 (木)	会議 (事業の経費・支払い状況に関する確認)

5. 各事業詳細

(1) プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー

【実施内容】

リポビタン Dチャレンジカップ 2018 (ラグビー日本代表対ニュージーランド代表)の試合を観戦するバスツアーを実施した。

参加者が試合を楽しみながら観戦できるよう、試合を観戦するだけでなく、ラグビートップリーグで活躍する現役のラグビー選手2名が帯同し、往復のバス移動時や試合観戦時にラグビーのルールや試合の見所等を解説した。また、試合後には、サインや記念撮影等、参加者とゲストが交流する時間を設けた。

【実施日】

平成 30 年 11 月 3 日 (土)

【会場】

東京スタジアム

(集合解散場所：狛江市役所市民ひろば)

【ゲスト】

垣永真之介選手 (サントリーサンゴリアス)

中村 駿太選手 ()

【対象】

狛江市民 (在住・在学・在勤)

【参加者数】

135 名 (大人：84 名、子ども：51 名)

(応募総数：200 名※抽選により参加者を選定)

【スケジュール】

- 12:00 集合 (狛江市役所市民ひろば)
- 12:15~12:30 バス移動,
車内でゲスト選手による競技のルールや試合観戦の見所の解説
- 12:50~14:45 会場到着, 自由行動
- 14:45~16:30 試合観戦, ゲスト選手による試合解説
- 16:30~17:00 記念撮影, ゲスト選手との交流 (サイン会) 等
- 17:00~17:30 会場からバス乗場まで移動
- 17:30~18:00 バス移動,
車内でゲスト選手による試合の振り返り, 質疑応答
- 18:00 解散 (狛江市役所市民ひろば)



【事業成果】

ラグビーワールドカップ 2019 が開催される大会会場において、出場国同士のレベルの高い試合を観戦することで、ラグビーワールドカップ 2019 に対する興味関心を高めることができた。また、初心者ではわかりにくい競技のルールをゲスト選手が参加者に解説することで、子どもたちやラグビー初心者の方でも試合を楽しみ、ラグビーの競技に対する理解を深めることができた。特に参加した子どもたちにとっては、レベルの高い試合の観戦やゲスト選手との交流等は、忘れられない思い出となり、今後の健やかな成長につながる事業となった。

【写真】



(2) デフラグビー日本代表による講演会&小学生タグラグビー教室

【実施内容】

ラグビーワールドカップ 2019 開幕 300 日前にあわせて、デフラグビー※日本代表の監督・選手による講演会とタグラグビー教室を実施した。

講演会では、監督がデフラグビーの特徴やルールの解説、日本代表の戦績等の紹介をした後、選手が選手間のコミュニケーションの方法やボールを使ったパスワーク等を披露した。タグラグビー教室では、子ども達は、身振り手振りで選手とコミュニケーションを図りながら、ステップの踏み方、ボールの持ち方、パスの仕方といった実践形式の体験を行った。

※デフラグビー：聴覚に障がいがある方（デフ=deaf）が取り組んでいるラグビー

【実施日】

平成 30 年 11 月 24 日（土）

【会場】

和泉小学校体育館

【ゲスト】

デフラグビー日本代表監督・選手

【対象】

小学生（親子）

【参加者数】

31 名

【スケジュール】

8：30～9：00 受付

9：00～9：40 開会式

デフラグビー日本代表監督による講演会

選手によるデモンストレーション

9：40～11：40 タグラグビー教室

11：40～12：00 記念品贈呈、記念撮影

12：00 閉会式、事業終了

【事業成果】

障がいがあっても前向きに努力を続ける選手との交流やラグビー指導を通じて、障がい者に対する理解を深めるとともに、競技に対する興味関心を高めることができた。ラグビーワールドカップ 2019 開幕 300 日前にあわせて、ラグビー事業を実施することで、大会に向けた気運を醸成することができた。



【写真】

